【産業動向概要】

産 業 全 体



2月を中心とした県内経済は、輸出が海外経済の減速などで弱めの動きが続き、生産活動も頭打ちとなっている。一方、雇用・所得環境は厳しさが和らいできており、個人消費は持ち直しに向けた動きが窺われる。県内経済は海外経済の減速や円高の定着化などから足踏み状態になっている。

観 光 旅館 業	$\uparrow \rightarrow \uparrow$	年末年始の伊豆地区の宿泊客数は概ね前年並みで推移。また観光施設への入込客数もほぼ前年並みとみられる。一方、開花の遅れ等で「河津桜まつり」や「熱海梅まつり」の集客が落ち込み、伊豆地区全体の観光集客にもマイナスの影響が出ている。
類	家庭紙 小 板紙	県内メーカーが生産する再生紙物トイレットペーパーの需要は低調、価格も軟調に推移。輸入品の急増により需給環境が改善されず、在庫状況も悪化している模様。段ボール原紙は需給とも比較的堅調、メーカーによる製品価格引上げが概ね達成。
水産業	→	静岡県主要漁港である焼津港の水揚量は、カツオ類、マグロ類ともに減少し、全体では前年比▲30.1%減、沼津港はサバ類が前年並みの水揚量で推移し、全体でも前年同実績値となった。一方、魚価は、マグロ類、カツオ類、イワシ類、アジ類が単価を上げ、魚種全体の平均単価は前年比33.6%上昇した。
一般 機械 (主要)	金属工作機械 金型 金型	金属工作機械は11月以降3ヵ月連続して前年比プラスと、昨年前半までの好調さが戻りつつある。一方、金型は11月から3ヵ月連続で前年割れとなった。タイの復興需要が一巡したこと、世界経済や為替の動向から不透明感が続くことが予想される。
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		全国、県内とも新設住宅着工は減少傾向にあり、木材需要は低調。このため製材品の県内生産量は減少傾向。また、製材品価格も需要減と輸入品価格の影響から当面弱含みで推移する見通し。
缶詰	水産 缶詰 農畜 産缶 飲料缶類	水産缶は主力のツナ缶が前年同期比27.1 %増と引続き大幅に増加。国内需要も堅調であるが、原料費の上昇と輸入品の急増の影響が懸念される。農畜産缶全体の生産量は2期連続で前年同期比減少。飲料缶類も同じく前年比減少し、ほぼ一昨年同期の水準に戻っている。
楽器	ピアノ・東器類・	主力のピアノは、生産台数は前期実績を上回ったが、販売台数は輸出の減少により同実績を下回った。電気・電子ピアノ、電子オルガンの生産台数、販売台数は、東日本大震災からの影響を脱し、前年実績を上回った。電子キーボードは生産量が増加し、堅調に推移した。



向けともに前年を上回って推移。また自動車部 品生産金額(県内)はフヵ月連続で前年を上回 り堅調に推移。自動車メーカーの海外生産拡大 により、製造の現地化が遅れている部品メーカ 一は受注の獲得が難しくなると予想されている。

遠州地域の二輪車生産台数は国内向け、輸出



《産業別天気マークの推移》

			🍎 明	るい 🥙	やや明る	su -	停滞 🥎 ヤ	やや不振	→ 不振
調査対象時期(公表時期)	10/1 (10/3)	10/4 (10/6)	10/7 (10/9)	10/10 (10/12)	11/1 (11/3)	11/4 (11/7)	11/8 (11/10)	11/11 (12/1)	12/1 (12/4)
概 況									
	7	7							
観光・旅館業									
3	J	7			T				
紙 類						-			
	7					7			
水産								9	
50	J								
一般機械(主要)		0							
2	J								
木 材									
									
缶 詰				-000					
			—						—
楽 器									
	7			•					
輸送用機器				-00					
000	J					J			—